

令和6年度第3回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 開催日時

令和6年11月21日（木） 午後3時30分～午後4時25分

2 開催場所

府中市役所2階 第一応接室

3 出席者

（委員）

平野 勝与	久我 孝顕	桐島 一義	関 奈緒子	宇田 雅英
高山 俊宏	宮口 泰彦	井上 邦康	松岡 康士	薦 真
高田 健司	秋本 隆彦	日野 雄蔵	丸橋 浩	渡邊 一成

（事務局）

大崎 聡	信岡 知典	小池 由範	西宮 瑠美
------	-------	-------	-------

4 欠席委員

山崎 武志

5 議事

第1号議案 デマンド型乗合タクシー「おたっしゃ号」の運行改善（案）

6 報告事項

自家有償旅客運送の運行区域変更について
鉄道と路線バスが並走する利点を活用した利便性向上について
市街地循環バス「ぐるっとバス」への要望について

7 配布書類

資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図
資料2 令和6年度第3回府中市地域公共交通活性化協議会－議案
資料3 令和6年度第3回府中市地域公共交通活性化協議会－資料

8 傍聴者

0人

9 議事の内容

○開会

【事務局】

○配布資料の確認

【事務局】

○委員紹介

【事務局】

○議事

【会長】

みなさんこんにちは。福山市立大学の渡邊でございます。よろしくお願いいたします。

先般、新聞で2024年の出生数が70万人を割り込む可能性があるという報道されていました。調べてみると直近の出生率のピークは1973年の211万人であり、現在はその3分の1です。人口減少、少子高齢化は厳しい状況になるということは間違いないです。今回の公共交通の会議についても、今後は大都市で行っている公共交通と地方都市の公共交通は考え方を変えなければ対応できないと思っています。本日の議題にありますデマンド型乗合タクシーは、まさしく地方の生活を支える基幹だと思っていますので、うまく活用して持続可能な暮らしが達成できればと思っています。

それでは、お手元の開催次第に従いまして議事を進めさせていただきます。今日の議事は、デマンド型乗り合いタクシーおたっしや号の運行改善案について、まずは事務局の方から説明をしていただき、その後、ご意見、ご質問を承りたいと思っています。事務局からの説明をお願いいたします。

【事務局】

○「第1号議案 デマンド型乗り合いタクシーおたっしや号の運行改善案」の説明。

【会長】

ありがとうございました。

それではただいまの事務局からの説明に対しまして、皆さんの方からご意見やご質問をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

【委員】

おたっしや号はバスで運行していたと思ったのですが、タクシーの車両に変わるのでしょうか。

【事務局】

今までジャンボタクシー使用しておりましたので、これまでと同じくジャンボタクシーを使用するように考えています。

【委員】

わかりました。

予約システムは昔MONET（モネ）を使っていましたが、今回も利用されますか。

【事務局】

MONET（モネ）は期間限定で実証実験としてさせていただきましたが、今回はまず住民の方にどれ

だけ活用意識があるか、上下で運用できるかを確認していく必要があると考えているため、簡易な予約サイトから始めようと考えています。

【委員】

市で開発をされたということでしょうか。

【事務局】

今回は Google フォームを使った簡易的のもので実施しようと考えています。

【委員】

説明の中に AI という説明があったと思いますが、今回は違うということでしょうか。

【事務局】

AI を将来的に導入することの検証を含めて、今回の取り組みを行います。

実際どのくらいの方が予約サイトを利用されるかわかりませんが、府中市の公式アプリ My 府中にリンク付を考えております。My 府中は、登録者数が 1 万 1 千人ということで、その中には高齢者の方も登録されていると考えております。AI を活用したシステムを導入する前に、まずは予約サイトの利便性を実感していただくように少しでもハードルを下げるような取り組みを行おうと考えています。

【委員】

この新規の登録者が伸び悩んでいると記載がありますが、地域の方に聞いた話では新規登録について、PR がなかったということでした。今までは、どのように対応をされてきたのでしょうか。

【事務局】

周知については、おたっしや号の運行を始める際に登録募集を行いました。その後、運行経路に中心部を追加するなどの節目には広報をしていましたが、通年通しての PR や定期的な利用募集といった取り組みについては市としても欠けておりました。今回の調査運行という取り組みを機に、改めて上下町の皆様に周知をさせていただこうと考えております。

【委員】

My 府中とリンクをさせるという案を出されていますが、高齢者がアプリを使うことが難しいということも含めて、色々と PR の方法を考えていただければと思います。

【委員】

電話予約もされるということですが、電話はどこかで集約されているのでしょうか。

【事務局】

エリアによって事業者様が決まっておりますので、各事業者様の方で電話対応をしていただいています。

【委員】

平成 30 年から利用者が減少している中で調査運行ということで、利用者ニーズに当てはまっているのでしょうか。使いやすくなるということであれば、サブスクのような月 1 回定額支払いを導入することも検討されてもよかったと思います。従前の 300 円、高齢者 200 円、免許返納者 200 円ということなら、時間帯だけで利用が増えるのかと思います。今後、そういうところを検討してみられる余地があるのか聞かせていただければと思います。

【事務局】

現状のルート設定などについて今まで利用者の方からも要望がありましたが、これまで見直しを行っていなかったということがあります。まずは一旦そうした声に応える形で改善し、それによってどのように利用が変化していくかを今回の調査運行から来年度にかけて検証させていただきながら、抜本的に制度を変えるような検討についても今後考えていきます。

【会長】

便数をどの時間帯にするのかを検討されたと思いますが、サブスクのような新しい展開を考えていくということになると、この調査運行の時に利用者ニーズを把握する必要があると思うのですが、その辺りは実施をされますか。

【事務局】

アンケートもしくは利用者に対してヒアリング等させていただきながら、利用ニーズを把握していこうと考えています。

【委員】

調査運行をして、アンケートを集めるとしても利用される方が少なかったら結果的には今までと同じことになると思います。数集める必要があると思いますので、どう集めるかも工夫しなければ、いい調査結果はできないと思います。

【委員】

上下町内を走るだけで採算を取ろうとしても難しいと思います。例えばおたっしや号に乗れば、路線バスの場合は料金を半額にするなど他の公共交通に乗ることによって利用を増やしていこうという考えを持った方が、府中市にとっても地域にとっても各事業者にとっても全体にメリットあると思います。トータルで考えてどうやって乗り合いを増やしていくかをもっと考えた方がいいと思います。

【会長】

1 点確認ですが、福祉でも移動支援はされていると思いますが、例えばタクシー券などの配布はされていますか。

【事務局】

タクシー券の配付はしています。

【会長】

1 番の狙いは皆さんの外出を促進させることなので、今回おたっしや号の運行を変えて便利になります。加えて、ワンコインバスで府中まで 500 円で行きます。更に福祉のタクシー券を使うともっと便利になります。そうすると柔軟性が出てくるといいと思います。今回は調査運行ですが、1 番の狙いは、どうやって皆さんの移動を促進するかです。もっと市民の方々の生活をよりよくするように取り組んでいることを全体的に PR した方がいいと思いましたので、ご検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【委員】

先ほどの福祉券、タクシー券につきましては券種が 500 円券しかないので、500 円単位だと使いづらいです。合わせて検討された方がいいと思います。

【会長】

せっかくの機会ですので、色々取り組んでいただきたいと思います。今回の利用者数の激減について非常に危機感を感じています。おたっしや号の利用者数を増やすことも望ましいですが、皆さんが外出して健康になってもらいたいというところまで考慮した上での PR に取り組むべきだと思います。もちろん PR するのはおたっしや号が便利になりますというのが 1 番ですが、是非ともやっていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員】

需要の形を変えることも必要かと思います。この地域にどれくらいの学生がいるかわかりませんが、例えば塾に行くために 16 時以降の時間があってもいいと思います。サポートするような運行も 1 つの考え方だと思います。また、夜におたっしや号を使って外出できるような運行にして、需要を増やすのも 1 つだと思います。そうすれば全体的に広がるかと思います。

【会長】

今回ご利用いただいたアンケートをとる際に、何時に運行をするとどんな使い方ができるかを聞いていただくと、子供の塾に行くのが便利というご意見も出てくるといいと思います。最終的には、調査運行が終わった後は 1 便になるということですが、せっかく取り組むのであればそういう取り組みもされたいと思います。よろしくお願いします。

【委員】

せっかくこの公式アプリというのであれば、市役所の方とか病院の方が出張で使い方の勉強会とかレクチャーをしていただけたらいいと思います。お年寄りだとスマホに一種のアレルギー反応を持たれる方がおられるので、そういった観点からも出張で使い方教室みたいなのをされると、もっと身近に感じるのではないかなと思いました。以上です。

【会長】

ちなみに公式アプリ窓口はどこが所管されていますか。

【事務局】

D X推進課が所管します。

【会長】

調整が必要だと思いますが、ご検討いただけたらと思います。

それと Google フォーム使うことはいいと思いますが、高齢者の方にメールアドレス等の入力を求めるのは困難だと思います。一番いいのは My 府中から予約が直接できることだと思います。My 府中に利用者が住所や名前、電話番号を登録されていれば、細かい入力はしなくていいと思います。My 府中からおたっしや号の予約ができて、空き状況や何時の便が予約できれば情報入れなくても使えるようになるので、高齢者の方にとっては優しいシステムだと思います。まだ時間があるので、検討いただければと思います。

【事務局】

確認して対応します。

【委員】

説明について確認させていただきます。おたっしや号の調査運行中に予約サイトを活用して予約ができるようになるということでしたが、調査運行後もタクシー会社の方で活用可能ということではなかったのでしょうか。それともう 1 つ、今回は運賃協議会を初めて開催されたと思います。運賃協議会では、住民説明会の開催などにより住民等の意見を聞くということになっていますが、利用者の意見を反映するための措置をどういった手法でされたのかを、ご説明いただけたらと思います。

【事務局】

予約サイトにつきましては、調査運行後も事業者の方へ引き継げるようなものになっております。

運賃協議会でご審議いただいた運賃につきましては、協議会に諮るにあたって、ホームページ等で周知の方をさせていただiki意見募集等をさせていただきましたが、ご意見等は頂いておりません。

【会長】

他にご意見はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では本件につきましては、この協議会で採決を取って確定し、手続きを進めることになりますので、挙手による採決を行いたいと思います。

第 1 号議案、デマンド型乗り合いタクシーおたっしや号の運行改善案につきまして、これから採決を行いたいと思います。

ご承認をいただける方は、挙手をお願いいたします。

【委員】

(挙手多数)

【会長】

ありがとうございます。

挙手多数ということで、可決されました。

今日も色々ご意見をいただきました。全ては難しいと思いますが、できるだけ今日のご意見を取り入れていただいて、実りある調査運行にしていいただければと思います。よろしくお願いいたします。

以上で本日の議事を終了いたします。

○閉会

以上